

高校生たちが土木の新たな魅力を発信！

# 青春ビルド BUILDプロジェクト



デミー博士  
出水 享氏

常に同じ環境に身を置くと、魅力や価値が薄れがちです。土木に従事する皆さんも、その魅力と価値を見失っていることがあるかもしれません。しかしその一方で、初めて土木に触れる高校生はどうでしょう？

新鮮な驚きと発見が彼らを待っています。彼らが初めて経験した土木の世界には、どんな感動がありどのようにシャッターをきったのか。彼らの写真と感想を通じて、楽しんでいただければ幸いです。

きっと、忘れかけていた土木の魅力や価値、そして誇りを取り戻すきっかけになることでしょう。



### 「道路の強さの礎」

●諫早高校 / 1年  
藤山 葵さん

鉄筋をひとつひとつ手作業で繋げているのを見てとても驚きました。この作業は、道路工事の基盤であり、写真のこの一瞬が私たちにとってどれだけ欠かせないものであるのかを実感させてくれます。



●諫早高校 / 1年  
富永 悠太さん

### 「築く」

「土木工事はひとりで作り上げるのではなく、多くの人の協力があって出来ている」ということを伝えたかった1枚。協力してひとつのものを作り上げることの凄さ、大切さが伝わってきました。



### 「第二の手」

●長崎東高校 / 2年  
渡部 光さん

撤去するブロックをクレーンで浚渫船へ移している一枚。何十トもあるブロックを手元のレバーを駆使して運んでいる。操縦士は大きいクレーンを自分の手であるかのように、慣れた手つきで慎重に動かしていた。



### 「慎重に」

●大村高校 / 1年  
杉本 咲希さん

重機で縁石を持ち上げた後、降ろす際は人の手で慎重に行う姿を撮影。2人で協力して、慎重に作業を進めている様子が印象に残りました。



●諫早高校 / 2年  
山田 萌々花さん

### 「生活を支える仕事人」

「ここ、いつ完成するのかな？」と思ったことはありませんか。さまざまな場所で工事が行われていますが、仕事を詳しく知る機会は少ないです。みんなの安全を守り、より良い生活を影で支えていただいていることに感謝。



### 「一つ一つを丁寧に」

●大村高校 / 2年  
安藤 飛鳥さん

歩道の縁石も一つ一つ高さやズレなどがないように置かれていたことを知り驚きました。写真で土木の仕事について興味を持ってくれる人が増えればいいなと思いました。



### 「カラフルな作業場」

●諫早高校 / 1年  
中村 心英さん

工事現場といわれると鉄の色や錆びた色を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。しかし、この写真ではオレンジや青といった鮮やかな色が多くとりいれられており、私が想像していた工事現場とは大きく違いました。



### 「おどろき」

●大村高校 / 2年  
御厨 彩葵さん

バックホウで2階の縁石を持ち上げたり、物と物のあいだに砂を入れたり細かい作業をしていて、職人技だと驚きました。